

高度物流人材育成講座

サプライチェーンサイエンスコース

第1期

管理技術の体系的学習=DX成功の力ギ

主催：慶應義塾大学 高度物流人材育成塾
後援：国土交通省、経済産業省
協賛：日本量子コンピューティング協会

2版：2025.8.1

高度物流人材育成講座「サプライチェーンサイエンス」のご案内

第4次産業革命といわれデジタル化が進む中、最近では配送効率化や、人員最適配置など日常管理問題の先に横たわる大規模問題をいかに効率よく解くかという問題が競争の最重要課題になっており、世界各国が国家戦略として莫大な投資を行っています。

デジタル化やデータサイエンスでは、大量のデータを決まった要求に基づいて効率よく処理しますが、早く処理できるからといって現場の問題を解決できるとは限りません。現場における問題を解決するためには、現場を熟知しているベテランのノウハウが必要になります。しかし、ここで問題になることは、複数のベテランのノウハウが異なることです。当然ながら、多くのベテランのノウハウを吸収すればより効率よく問題を発見し解決することができます。

サプライチェーンサイエンスコースでは、100年以上蓄積された管理技術および90年代のICTの普及と伴に発展してきたベテランのノウハウを体系化した理論、すなわち体系化された原理原則を伝授します。

原理原則（理論）は机上の空論ではなく、経験を帰納的にまとめた経験のエキスです。勿論理論をベースとして演繹的に仮説を立て、その仮説を実践において立証することで新しい経験、ノウハウ、あるいは原理原則にまとめることもあります。いずれにしても原理原則は現場の実践を経て確立されるものであり、原理原則を理解せず適当に仮説をたて、失敗したら原理原則を机上の空論と批判することは正しくありません。

本研修では、以下のカリキュラムで、調達、製造、販売、物流を含むサプライチェーン全体における最適化を実現するうえで必要になる原理原則を解説し、思考問題、事例、および数値例を用いて問題発見と問題解決の方法論やテクニックを伝授し、自社内部のモノの流れの最適コントロール、および調達と販売を含むサプライチェーンの最適化を指導できるリーダーの育成を目指します。生産物流分野でビジネスモデルの考案、評価、および意思決定を行う立場にある方、および経営の意思決定を行う立場にあるビジネスリーダーの受講をお待ちしております。

記

1. **主催**：慶應義塾大学高度物流人材育成塾
2. **日時**：2025年12月19日(金)～2025年3月6日(金) 16:00～19:30(全12回)
3. **会場**：対面の場合▶慶應義塾大学K2キャンパス
慶應義塾大学 新川崎タウンキャンパス厚生棟1F会議室(川崎市幸区新川崎7-1)
<https://www.k2.keio.ac.jp/access/index.html>
(JR横須賀線 新川崎駅下車 徒歩10分)
リモート参加の場合▶Teams
4. **初回** 50万円(税別)、1 コース受講済 40万円、2 コース受講済 30万円
5. **定員**：30名(最小開催人数10名)
6. **お申込み方法**：添付書式によるFAXまたは同内容の電子メールにて期限迄にお申込みください。
7. **受講に関する留意事項**
 - ・4ヶ月間(3時間×12回)の長期に渡る研修になりますので、オンラインによる受講等、継続して受講しやすいように配慮致します。(演習環境の都合で、一部オンライン受講できないこともあります)
 - ・特殊技能または前提知識がなくても基礎から応用まで理解できるように工夫した研修コースです。
 - ・修了者には修了証書を発行します。
 - ・オプションとして海外著名大学の著名研究者と交流し、現地視察を実施します(実費別料金)。
8. **お問い合わせ先**：慶應義塾大学松川研究室 小山有紀 <yuki.koyama@keio.jp>

- (1) SCM最適化の必要性.....【12月19日(金)】

第1部 ステーションサイエンス

- (2) 負荷と能力のバランスの科学.....【12月26日(金)】
 (3) ばらつきにどう対処するか.....【1月9日(金)】
 (4) バッチ処理の影響と対処方法.....【1月16日(金)】

第2部 ラインサイエンス

- (5) フローの整流化の原理.....【1月23日(金)】
 (6) バッファリングの活用方法.....【1月30日(金)】
 (7) プッシュとプルの最適化.....【2月6日(金)】

第3部 ネットワークサイエンス

- (8) 在庫は諸悪の根源か.....【2月13日(金)】
 (9) リスクマネジメントの方法論.....【2月20日(金)】
 (10) 自律分散と協調の原理.....【2月27日(金)】

第4部 インバウンドとアウトバウンドのサイエンス

- (11) 調達マネジメントにおける原理原則.....【3月6日(金)】
 (12) 需要予測の方法論.....【3月13日(金)】

第5部 海外短期留学・視察(有志・選択、3月16日～20日、実費別料金)

- (1) アメリカ MIT Sloan Management School (Stephen C. Graves, Prof. PhD. Member of Academy)
 (2) ドイツ TUM School of Management (Stefan Minner, Prof. PhD. Dean)

講師予定者

藤野 直明	株式会社野村総合研究所	守屋 岳志	日産自動車株式会社
佐藤 知一	日揮株式会社	八木 将計	株式会社日立製作所
野中 剛志	株式会社SUBARU	久下 直彦	スマート工場研究所
太田 裕文	ENAA	足利 国洋	スマート工場研究所
山中 一克	株式会社竹中工務店	中塚 昭宏	青山学院大学
井川 玄	千代田化工建設株式会社	松川 弘明	慶應義塾大学

申込日： 年 月 日

慶應義塾大学新川崎先端研究教育連携スクエア松川研究室御中

高度物流人材育成講座 サプライチェーン サイエンスコース

受講申込書

掲記、高度物流人材育成講座「サプライチェーン サイエンスコース」への受講を以下のとおり申し込みます。

企業・団体名							
申込責任者		部署・職位					
		氏名					
連絡担当者 ※1		部署・職位					
		氏名					
		E-mail					
		電話					
		住所	〒				
受講者 1	氏名		よみがな		継続数		
受講者 2	氏名		よみがな		継続数		
受講者 3	氏名		よみがな		継続数		
申込種別 (択一)		☐ 推薦：推薦者（ ）					
		☐ 一般					
連絡事項							
領収証の 要否		☐ 必要（宛先： ） ※宛先の指定が無い場合は、「企業・団体名」を宛先と致します。					

※1：受講料の請求書などをお送りさせていただく際の宛先情報をご記入ください。

※2：「継続数」項には、受講済みの他コース数をご記入ください。（無し=0、1コース受講済=1、2コース受講済=2）

ご送付先・お問い合わせ先情報

慶應義塾大学 松川研究室

郵送の場合：〒212-0032 川崎市幸区新川崎7-7 AIRBIC-A26

E-mailの場合：TO 小山 yuki.koyama@keio.jp

CC 松川 matsukawa@ae.keio.ac.jp

Faxの場合：044-276-8181

お申込み期限：2025年12月12日(金)